競争的研究資金による衛星データ利活用の推進

〇近年、リモートセンシング衛星による地球観測サービスの市場が急成長。国内においても、平成28年11月の宇宙関連二法案の成立等を受け、今後の衛星データ利活用ビジネスの活性化が期待。

〇令和元年度より、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）のプログラムに「衛星データ利活用分野」を追加し、競争的資金による研究開発を推進中。

【衛星データ利活用分野】

衛星データの解析や処理、取得の高度化・効率化により、現代社会が抱える社会的問題の解決や、新サービス・新産業の創出に資する研究開発分野

令和元年度採択課題（新規）

■社会展開指向型研究開発（2年枠）　「超小型衛星のターゲットポインティング制御を活用したオンデマンド・リモートセンシングシステムの研究開発」（研究代表機関：東北大学）

■ICT基礎・育成型研究開発（1年枠）　「アマチュア無線帯衛星通信向けのネットワーク型仮想地上局と統合型プラットフォームの構築、および実証試験に関する研究開発」（研究代表機関：米子工業高等専門学校）